

平成 27 年度秋の叙勲受章者が発表され、仙北市から次の 3 人が受章されました。各分野で長年にわたり、地域社会に貢献された皆さまの受章を、心からお祝い申し上げます。

# 秋の叙勲

瑞宝単光章



藤川 健一氏  
(71 歳 田沢湖角館東前郷)

元仙北市消防団副団長。  
昭和 38 年田沢湖町消防団に入団。平成 15 年から平成 17 年まで副団長として活躍。豊富な経験と優れた指導力で、永きにわたり地域の安心・安全のために尽力されました。

瑞宝単光章



橋本 左武郎氏  
(71 歳 西木町松木内)

元仙北市消防団団長。  
昭和 47 年西木町消防団に入団。平成 20 年から平成 21 年まで団長を務め、永きにわたり防火・防災のリーダーとして活躍、火災や災害から住民の生命・財産を守るため尽力されました。

旭日双光章



藤原 助一氏  
(76 歳 田沢湖生保内)

元仙北市議会議員。  
平成 5 年に田沢湖町議会議員に当選。仙北市誕生後の平成 17 年から平成 26 年まで仙北市議会議員として、永きにわたり地域の発展に大きく貢献されました。

## 統計調査員の 千田ミワさん 秋の褒賞

平成 27 年秋の褒章で千田ミワさん（田沢湖田沢）が、藍綬褒章を受章されました。千田さんは昭和 45 年から平成 27 年までの連続 10 回の長きにわたり農林業センサス調査員として公共の事務にご尽力されました。  
この度、これらの功績が顕著であると認められ受章となりました（千田さんは、昭和 40 年から引き続き各種統計調査に従事されています）。



千田 ミワさん

## 秋田県統計功労者表彰

11 月 13 日に秋田県庁で平成 27 年秋田県統計功労者の表彰式が開催され、仙北市から工藤恒子さん（角館町小勝田）が経済産業大臣表彰、田中榮さん（角館町表町）と高橋昌子さん（角館町白岩）が秋田県知事表彰を受賞されました。

工藤さんと田中さんは、功労者の中でも特に優秀であると認められ、それぞれの表彰状を代表で受領し、田中さんは全受賞者を代表して謝辞を述べました。



高橋 昌子さん



田中 榮さん



工藤 恒子さん

## まちづくり日記

No.91

### 『八百屋の親父はなぜ元気か？』

仙北市長 門脇 光浩

先月、名古屋で企業誘致セミナーが開催された。ここで秋田市出身でトヨタ自動車（株）相談役・技監の佐々木真一さんから、とても興味深いお話をいただいた。少し紹介する。

「新たな技術とは、既に存在する技術を磨き上げ、多くの既存技術の組み合わせを行って、これまでにない技術が構成される、これが真実だ。ハイテクの塊のように思える未来も、実はローテクの集積体と言っている。トヨタは品質は工程で造り込む！をモットーにしている。社員は常に改善を提案し、厳しさが楽しみも多い現場だと自負もある。これを伝えたいとき、よく『八百屋の親父はなぜ元気か？』を例にする。八百屋の親父は朝早くに新鮮な野菜を仕入れ、お客はそれを喜んで買う。八百屋の仕事ぶりにお客は感謝し、喜びお客を見ることで八百屋はますます頑張る。大きな声でお客を店に招き入れ、また評判を高める。八百屋の親父は、さらに自分の仕事に誇りと自信を持つ。もっと目標を高くする。これが八百屋の親父が元気な理由だ。本気ですれば大抵のことはできる。本気で

れば何でも面白い。本気でしている、必ず誰かが助けてくれる。いくら頑張っても成果が出ない、誰も自分の仕事を理解してくれないと悩んでいる方がいたら、それは努力が足りないだけのこと。企業も社会も人がつくる。一人ひとりが、ただ居るだけの人ではなく、居たらありたい人材、必要欠くべからざる人材を目指してはいないか」...

心の中のモヤモヤを、まるで掃除機が吸い取ってくれたよつなお話だった。トヨタも初めから世界のトップ企業ではなかった。雨漏りの自動車とクレームがあったときには、3 年をかけて組み立て工程を見直したと、佐々木さんも言っていたではないか。挑戦して失敗して、それを検証してさらに挑戦して...。それが進歩だと言っていたではないか。

市議会 12 月定例会がスタートした。仙北市の総合戦略は、産業振興と仕事づくり、移住と定住強化、全力で少子化対策、新たな地域社会の形成、この 4 本を柱に据えた。市民と共に全力で挑戦しよう、失敗しても、また立ち上がり、再挑戦しよう、そんな気構えで議論に臨むぞ。

## かくのだてフィルムコミッション

### ロケーションだより Kakunodate Film Commission

かくのだてフィルムコミッション  
(仙北市観光課内)  
☎ 43-3352  
<http://kakunodate-fc.jp/>

今回は、フィルムコミッション(以下 F C)の基本に戻ったお話をしたいと思います。

F Cには、活動を行うに当たって「3つの要件」があります。1つ目は、非営利の機関であり無償のサービスを提供していること。F Cは制作する側と金銭のやりとりを行わない関係を保つため、資金の援助等を行っていません。事務局が自治体、商工会議所、観光協会等に置かれている場合が多く、かくのだて F Cも仙北市観光工部内に事務局があります。2つ目がワンストップサービスを行的にしていること。撮影の際に必要な情報の提供、宿泊、食事等の手配や、公共施設の使用許可申請、警察署への道路使用許可申請、エキストラの手配まで一括して対応します。3つ



道路使用許可を得た武家屋敷通りの撮影

目は、作品を問わないこと。F Cは、作品の内容を問わず、「表現の自由」を制約しないよう、撮影に関する相談を受け付けます。ただし、実際に撮影される候補地の所有者や管理者から、作品内容や条件により断られる場合もあります。

かくのだて F Cも「3つの要件」に沿って活動を行っています。市民の皆さまにも F C 活動の基本を知っていただければと思います。今後ともかくのだて F Cは、ロケ誘致や支援活動を通じて地域振興に貢献していきたいと思っておりますので、市民の皆さまのご協力をよろしく願います。  
(会長 坂本 洋)